



I コマンド

この章では、I で始まる、Cisco NX-OS ファイバ チャンネル、仮想ファイバ チャンネル、および Fibre Channel over Ethernet (FCoE) のコマンドについて説明します。

in-order-guarantee

順序どおりの配信をイネーブルにするには、**in-order-guarantee** コマンドを使用します。順序どおりの配信をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

in-order-guarantee [*vsan vsan-id*]

no in-order-guarantee [*vsan vsan-id*] [,] [-]

構文の説明

| | |
|---------------------|---|
| vsan vsan-id | (任意) VSAN ID を指定します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。 |
| [,] [-] | (任意) 複数の VSAN をカンマで区切って入力したり、VSAN の範囲をダッシュで指定することも可能です。 |

コマンド デフォルト

ディセーブル

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|--------------|-----------------|
| 4.0(0)N1(1a) | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

データ フレームの順序どおりの配信では、送信元が送信した順番で宛先にフレームが配信されることが保証されます。

例

次に、順序どおりの配信をスイッチ全体でイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# in-order-guarantee
```

次に、順序どおりの配信をスイッチ全体でディセーブルにする例を示します。

```
switch(config)# no in-order-guarantee
```

次に、順序どおりの配信を特定 VSAN でイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# in-order-guarantee vsan 3452
```

次に、順序どおりの配信を特定 VSAN でディセーブルにする例を示します。

```
switch(config)# no in-order-guarantee vsan 101
```

関連コマンド

| コマンド | 説明 |
|--------------------------------|---------------------------------|
| show in-order-guarantee | in-order-guarantee ステータスを表示します。 |

install feature-set virtualization

スイッチで Cisco 仮想マシン フィーチャセットをインストールするには、**install feature-set virtualization** コマンドを使用します。Cisco 仮想マシン フィーチャ セットを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

install feature-set virtualization

no install feature-set virtualization

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

ディセーブル

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 5.1(3)N1(1) | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン



(注)

Cisco 仮想マシン機能は、Cisco Nexus 5500 シリーズ スイッチでのみサポートされています。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、スイッチで Cisco 仮想マシン フィーチャ セットをインストールする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# install feature-set virtualization
switch(config)#
```

関連コマンド

| コマンド | 説明 |
|-----------------------------------|--|
| feature-set virtualization | スイッチで Cisco 仮想マシン フィーチャ セットをイネーブルにします。 |
| show feature-set | 仮想化フィーチャセットのステータスを表示します。 |
| show running-config | 実行システム コンフィギュレーション情報を表示します。 |

interface fc

Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチのファイバチャネル インターフェイスを設定するには、**interface fc** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
interface fc slot/port
  channel-group {group-id [force] | auto}
  fcdomain rcf-reject vsan vsan-id
  fcsp {auto-active | auto-passive | on | off} [timeout-period]
  fspf {cost link-cost vsan vsan-id | dead-interval seconds vsan vsan-id | hello-interval
seconds
vsan vsan-id | passive vsan vsan-id | retransmit-interval seconds vsan vsan-id}
switchport
```

```
no interface fc slot/port
  no channel-group {group-id [force] | auto}
  no fcdomain rcf-reject vsan vsan-id
  no fcsp {auto-active | auto-passive | on | off}
  no fspf {cost link-cost vsan vsan-id | dead-interval seconds vsan vsan-id |
hello-interval seconds vsan vsan-id | passive vsan vsan-id | retransmit-interval
seconds vsan vsan-id}
switchport
```

構文の説明

| | |
|-------------------------------|--|
| <i>slot/port</i> | インターフェイスのスロット番号およびポート番号を指定します。 |
| channel-group | ポート チャネルに追加するか、ポート チャネルから削除します。 |
| <i>group-id</i> | ポート チャネル グループ番号を 1 ~ 128 の間で指定します。 |
| force | (任意) ポートを強制的に追加します。 |
| auto | ポート チャネルの自動作成をイネーブルにします。 |
| fcdomain | インターフェイス モードを開始します。 |
| rcf-reject | rcf-reject フラグを設定します。 |
| vsan vsan-id | VSAN ID を指定します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。 |
| fcsp | 特定インターフェイスの Fibre Channel Security Protocol (FC-SP) パラメータを設定します。 |
| auto-active | 指定のインターフェイスを認証するため、auto-active モードを設定します。 |
| auto-passive | 指定のインターフェイスを認証するため、auto-passive モードを設定します。 |
| on | 指定のインターフェイスを認証するため、on モードを設定します。 |
| off | 指定のインターフェイスを認証するため、off モードを設定します。 |
| <i>timeout-period</i> | (任意) インターフェイスを再認証するためのタイムアウト期間を指定します。有効な時間範囲は 0 (デフォルト: 認証は実行されません) ~ 100,000 分です。 |
| fspf | FSPF パラメータを設定します。 |
| cost link-cost | FSPF リンク コストを設定します。有効な範囲は 1 ~ 65535 です。 |
| dead-interval seconds | FSPF のデッド インターバルを秒単位で設定します。有効な範囲は 2 ~ 65535 です。 |
| hello-interval seconds | FSPF の hello インターバルを設定します。有効な範囲は 1 ~ 65535 です。 |

| | |
|------------------------------------|--|
| passive | インターフェイスの FSPF をイネーブルまたはディセーブルにします。 |
| retransmit-interval seconds | FSPF の再送信インターフェイスを秒単位で設定します。有効な範囲は 1 ～ 65535 です。 |
| switchport | スイッチポート パラメータを設定します。 |

コマンドデフォルト ディセーブル

コマンドモード グローバル コンフィギュレーション モード

| コマンド履歴 | リリース | 変更内容 |
|--------|--------------|-----------------|
| | 4.0(0)N1(1a) | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン 次の形式でコマンドを入力して、インターフェイスの範囲を指定できます。

```
interface fc 1/1 - 5 , fc 2/5 - 7
```

インターフェイスをイネーブルにするには、**no shutdown** コマンドを使用します。

interface fc コマンドを使用すると、インターフェイス コンフィギュレーション モードになります。このモードでは 5 つのコマンドを使用できます (それぞれに **no** 形式があります)。これらの 5 つのコマンドは、インターフェイス コンフィギュレーション モードだけで使用できます。

channel-group auto コマンドでは、ポート チャネルの自動作成がイネーブルになります。インターフェイスに対してポート チャネルの自動作成がイネーブルになっている場合、最初にこの設定をディセーブルにしてから、以前のソフトウェア バージョンにダウングレードするか、または手動設定されたチャネル グループでインターフェイスを設定する必要があります。

例 次に、ファイバチャネルインターフェイス 3 のポート 1 ～ 4 を設定する例を示します。

```
switch(config)# interface fc 3/1 - 4
```

次に、スロット 3 のポート 1 のファイバチャネルインターフェイスをイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# interface fc 3/1
switch(config-if)# no shutdown
```

| 関連コマンド | コマンド | 説明 |
|--------|-----------------------|--------------------------------|
| | show interface | 指定したインターフェイスのインターフェイス設定を表示します。 |
| | shutdown | インターフェイスをディセーブルおよびイネーブルにします。 |

interface san-port-channel

Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチの SAN ポート チャネル インターフェイスを設定するには、**interface san-port-channel** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

interface san-port-channel *port*

no interface san-port-channel *port*

構文の説明

port SAN ポート チャネル インターフェイス ID。有効な範囲は 1 ~ 256 です。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|--------------|--|
| 4.0(0)N1(1a) | このコマンドが追加されました。 |
| 5.1(3)N1(1) | description 、 shutdown 、および switchport キーワードは、 interface san-port-channel コマンドから分けられました。これらは個別のコマンドとして説明します。 |

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

この例では、SAN ポート チャネル インターフェイス 3 で SAN を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface san-port-channel 3
switch(config-if)#
```

関連コマンド

| コマンド | 説明 |
|--|--|
| channel mode active (SAN ポート チャネル) | アクティブ ポート チャネル ポートとして SAN ポート チャネル インターフェイスを設定します。 |
| show interface | 指定したインターフェイスのインターフェイス設定を表示します。 |
| shutdown | インターフェイスをディセーブルおよびイネーブルにします。 |
| switchport (SAN ポート チャネル) | SAN ポート チャネル インターフェイスのスイッチ ポート パラメータを設定します。 |

interface vethernet

仮想イーサネット (vEth) インターフェイスでインターフェイス コンフィギュレーション モードを開始するには、**interface vethernet** コマンドを使用します。仮想イーサネット インターフェイスを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
interface vethernet veth-id[, vethernet veth-id, ...]
```

```
no interface vethernet veth-id[, vethernet veth-id, ...]
```

構文の説明

| | |
|----------------|--|
| <i>veth-id</i> | 仮想イーサネット インターフェイス番号。有効な範囲は 1 ~ 1,048,575 です。 複数の仮想イーサネット インターフェイスを指定できます。必ずカンマ (,) の区切り文字を使用してください。 |
|----------------|--|

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 5.1(3)N1(1) | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

仮想イーサネット インターフェイスを使用する前に、**feature-set virtualization** コマンドを使用してスイッチの Cisco 仮想マシン機能をイネーブルにする必要があります。

Cisco Nexus 5548 スイッチには、最大で 1000 個の仮想イーサネット インターフェイスを作成できます。スイッチで Cisco アダプタ ファブリック エクステンダ (Adapter-FEX) をディセーブルにする前に、必ずこれらのインターフェイスを削除してください。仮想イーサネット インターフェイスを削除した後に、スイッチの実行コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーション ファイルに保存してください。

例

次に、仮想イーサネット インターフェイス 10 のコンフィギュレーション モードを開始する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface vethernet 10
switch(config-if)#
```

次に、仮想イーサネット インターフェイスを削除する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# no interface vethernet 2
switch(config)#
```

関連コマンド

| コマンド | 説明 |
|--|-------------------------------------|
| bind | インターフェイスを仮想イーサネット インターフェイスにバインドします。 |
| feature-set virtualization | スイッチで Cisco 仮想マシン機能をイネーブルにします。 |
| show interface vethernet | 仮想イーサネット インターフェイスの各種パラメータを表示します。 |
| show running-config interface | インターフェイスの実行コンフィギュレーションを表示します。 |

interface vfc

Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチの仮想ファイバ チャンネル インターフェイスを設定するには、**interface vfc** コマンドを使用します。仮想ファイバ チャンネル インターフェイスを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
interface vfc vfc-id
```

```
no interface vfc vfc-id
```

構文の説明

vfc-id 仮想インターフェイス ID を指定します。有効な範囲は 1 ~ 8192 です。

コマンド デフォルト

ディセーブル

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|--------------|---|
| 4.0(0)N1(1a) | このコマンドが追加されました。 |
| 5.0(2)N1(1) | bind 、 description 、および shutdown コマンドは interface vfc コマンドから分離されました。 |
| 5.0(2)N2(1) | 仮想 E (VE) ポートのサポートが追加されました。 |

使用上のガイドライン

次の形式でコマンドを入力して、インターフェイスの範囲を指定できます。

```
interface vfc 1 - 3, vfc 5 - 7
```

例

次に、仮想ファイバ チャンネル インターフェイス 3 のインターフェイス コンフィギュレーション モードを入力する例を示します。

```
switch(config)# interface vfc 3
switch(config-if)#
```

関連コマンド

| コマンド | 説明 |
|---------------------------|---|
| bind | インターフェイスに仮想ファイバ チャンネル インターフェイスをバインドします。 |
| description | 仮想ファイバ チャンネル インターフェイスの目的のサマリーを入力します。 |
| show interface vfc | 指定の VFC インターフェイス、属性、およびステータスを表示します。 |
| shutdown | インターフェイスをディセーブルおよびイネーブルにします。 |

| コマンド | 説明 |
|---|--|
| switchport (仮想ファイバチャンネルインターフェイス) | 仮想ファイバチャンネルインターフェイスを仮想 E (VE) ポートとして設定します。 |
| switchport mode trunk | イーサネット インターフェイスをトランク ポートとして設定します。 |